

レポート

# 待遇改善は進みつつも女性活躍はこれから —建設現場で働く女性へのアンケート結果より—

日本建築仕上学会 女性ネットワークの会 主査  
熊野 康子

## 1. アンケートを始めたきっかけ

女性ネットワークの会が「建築現場で働く女性へのアンケート」を始めたのは2015年の第2回講演会のパネルディスカッションの題材としてはじめてのことがきっかけです。その時はこれから9年間も続くとは思いませんでした。第2回の講演会の特別講演が(株)大林組にて現場で長年勤務された、服部道江さんでした。服部さんが建築現場で活躍されてきたということもあり、特別講演の後のパネルディスカッションに「建築現場で働く女性の意見を反映させたい」という意図もあり、建設現場で働く女性のアンケートをとってみたいと思いました。第一回目で必死に考えた項目が、5回目まで7割が残りました。3割はその時代を反映したものに変えたこともありましたが、本質は変わらないようにしていきました。回を重ねるごとに少しずつではありますが、回答者も増加しました。とてもうれしいことでした。第一回目のアンケートは、印刷した紙を配り手書きで回答してもらおうという方式でした。PDFをメールで送ったりもしました。第4回から完全に電子化しました。そうすることで回答数もアップしました。同時に統計もできるようになり、今までエクセルに打ち込んでいた日々がその様でした。2023年4月に5回目のアンケートの集計が終わり、ここでこのアンケートは集大成と考えています。結果をこの章で報告します。次回アンケートを実施するとしたら2025年です。この時どのような形になっているのかとても楽しみです。

## 2. 第5回 建設業界や現場で働く女性へのアンケート結果

第5回目のアンケート結果は新刊本「続続・今建築仕上げ女子がアツい」にて報告いたしました。ここでは掲載欄のスペースの関係もあるので結果については新刊本で見ただけだと思います。設問は33問、一部（DXに関する項目）を除き、ほぼ第4回アンケートと質問内容な同じです。第5回目より建設業界にて働いているのであれば建設現場で働いていない方でもアンケートに参加できるようにしました。回答数は最高数の309名分が得られました。下記にこれまでの回答数と実施時期を掲載します。

配布、回収期間：2023年2月13日～4月15日（第5回目）

対象範囲：全国

全設問：33項目

参加者：309名（うち、現場経験者167名）

第1回目 2015年 参加者149名

第2回目 2017年 参加者174名

第3回目 2019年 参加者295名

第4回目 2021年 参加者304名

## 3. 5回分(9年間)のアンケート結果の統計

質問内容が少し変わったりした質問もありますが、回答の傾向をまとめてみました。設問番号順はありませんので、ご注意ください。